作成日：2025 年　2 月　13 日

研究協力のお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

経腸栄養剤投与中の下痢及び便秘に対するペクチン及び食物繊維含有消化態栄養剤へ変更後の効果
１．研究の対象および研究対象期間 2022 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日に昭和大学藤が丘病院に入院中に経腸栄養剤を使用されていた患者さん
２．研究目的・方法 **研究目的** 経腸栄養剤を投与中の合併症のひとつとして、下痢及び便秘が出現することがあります。下痢が出現した際には粘度調整剤の追加、整腸剤や下痢止めの投与などの対策がされることがあります。便秘が出現した際には整腸剤や下剤の投与などがされることもあります。しかし、こういった対策を実施しても下痢及び便秘が改善されない場合もあります。下痢及び便秘の出現時にペクチン及び食物繊維含有経腸栄養剤へ変更し、便性が改善した例がありました。 ペクチン含有経腸栄養剤は、胃内で胃酸と反応しゲル化することで下痢の予防・改善が期待できます。 食物繊維は、腸の蠕動運動を促し便秘を改善させる効果が期待できます。 **研究方法** 当院に入院されていた患者さんのうち、経腸栄養剤の投与中に下痢及び便秘を理由にペクチン及び食物繊維含有経腸栄養剤へ変更となった患者さんを対象に変更前と変更後の排便状況を比較します。診療録の記録を参照いたします。
３．研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 6 月 30 日まで
４．研究に用いる試料・情報の種類 基本情報（性別、年齢、身長、体重、既往、併存症、入院日、退院日）、検査データ（血液検査、細菌検査）、栄養投与状況（経腸栄養剤や点滴の種類、投与量、投与日数、投与速度）、排便状況（排便日数、排便回数、便性、排便の量）、投与薬の種類と量

５．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

６．研究組織

研究責任者　昭和大学藤が丘病院栄養科　石井梨絵

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院栄養科　　氏名：石井梨絵

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30　電話番号：045-974-6210